



代表質問

市民クラブ 高島の虹
高木 広和 議員

新ごみ処理施設建設について

問 今後どのような方針、方向性で進められるのか

答 早期に一般廃棄物を安定処理できる体制の構築に努めます

その対策について、どのような見解をもっているか。

答 市長

生産年齢人口の減少による将来見通しよりもロシアによるウクライナへの軍事侵攻や、コロナ禍による生産活動の低迷、原油価格の高騰など、世界の社会経済情勢の影響により、極めて厳しい状況にかかっているものと認識しています。雇用環境については、デジタル化の加速度的な進展や脱炭素化の流れを鑑み、今後大きな変化があると受け止めています。こうした流れに対応するため、市では高島地域雇用創造協議会により、企業が必要とする能力やスキルを取得するセミナーなどを開催し、企業と求職者のマッチングを行っています。

問 活断層が要審議項目となったことについて、どのような見解か。

答 市長

水害リスクを理由に市議会において2度にわたり否決され、市として断念せざるを得なかった経緯を踏まえ、建設検討委員会では、活断層等の評価項目を要審議事項に加えた上で、専門家による知見も含めて適否を評価する選定方法と定められました。これまでもから何度も市議会に説明申し上げてきたところでありますが、ご理解をお願いします。

問 今後どのような方針、方向性で進められるのか。

答 市長

現在、伊賀市に令和11年度末まで受け入れを容認いただいている中で、早期に一般廃棄物を安定処理できる体制の構築に努めていきます。

問 3地区からの応募について公募の段階から活断層付近とわかっていったにも関わらず、なぜ公募の対象にしたのか。

答 市長

様々な災害リスクがあり、地質、地勢上、いろいろな土

地域経済の変化と雇用促進について

問 生産年齢人口減少が推測される状況で、今後の産業、経済の動向を、どのように分析や推察し、雇用環境の変化と

その他の質問

陸上自衛隊 今津駐屯地の体制維持・強化について